

臼田協働まちづくりワークショップ参加者の思い

地域のために何かをしたい。

合併後の臼田地区のまちづくりに一住民として参加した。

臼田地区の将来のために。

まちづくりについて、勉強の場として参加したい。

臼田活性のため。

より良いまちづくりは、地域住民が協力して取り組むことが重要と思い参加します。

うすだの未来のために。

まちづくりにお手伝いしたい。

臼田を住みやすく、心強く、頼れる、安らぎのまちづくりをしたい。

臼田地区の人がどのようなまちづくりを希望しているのか知りたい。

沈滞化ムードの打破。

佐久病院再構築による大きな変化を活性化のきっかけにしたい。

これからは、住民と行政がお互いパートナーとなり、行政まかせでなく、住民参加のできる臼田のまちづくりをしたい。

佐久平周辺の活性化に反比例して、臼田の衰退に危機を持ち、どのようにしたら臼田を活性できるか皆さんと考えていきたい。

地区住民の不安解消のため。

臼田を住みやすく、良くしたい。

やがて起こる小学校の統合問題を先取りして考えたい。

臼田を一つの家と考え、家の繁盛を願うとき、歴史、文化、環境、佐久病院という蔵の数々の宝をもう一度見直し、人という一番の宝が元気で、長寿、活気のある家(臼田)に住んでいたい、住みたくなるまちの100年先、そして今を考えながら、佐久病院の再構築をきっかけに臼田地域おこしに参加したい。

将来の子どもたちに夢の持てるまちにしたい。

この事業が成功するか否かは、病院が臼田地区に地域医療センターを計画通り建設するかにかかっていると思う。臼田地区住民として計画通り遂行して行くか確認していくためにも参加したい。

この4月から臼田に住んでいて、もっと臼田のことを知りたいために。

健康管理、生活環境、交通安全等の対策、整備の遅れへの憂慮から。

臼田で農業に従事して住んでいるが、私たち住民が知恵を出し合い、情熱を傾けてまちづくりに取り組めば、素晴らしい地域社会をつくることができると思う。

臼田に生まれ育ち、学び、商い、生かされてきた一人の住民として、また合併を望まなかった一人として、病院の再構築を考える一人として、協働のまちづくりに参加したい。

病院の職員として、病院のある臼田地区のまちづくりに係りたい。病院もまちの中の一部であり、病院だけでなく、そこに住む人が幸せに暮らせるようなまちを考えたい。